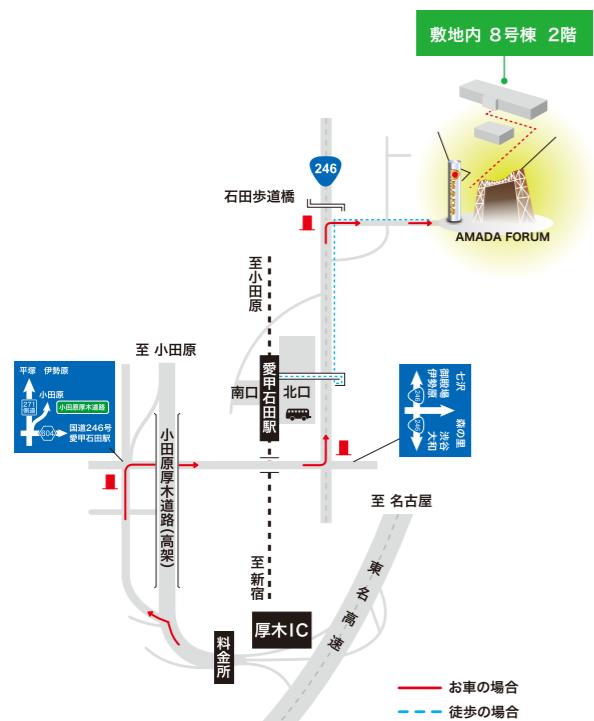


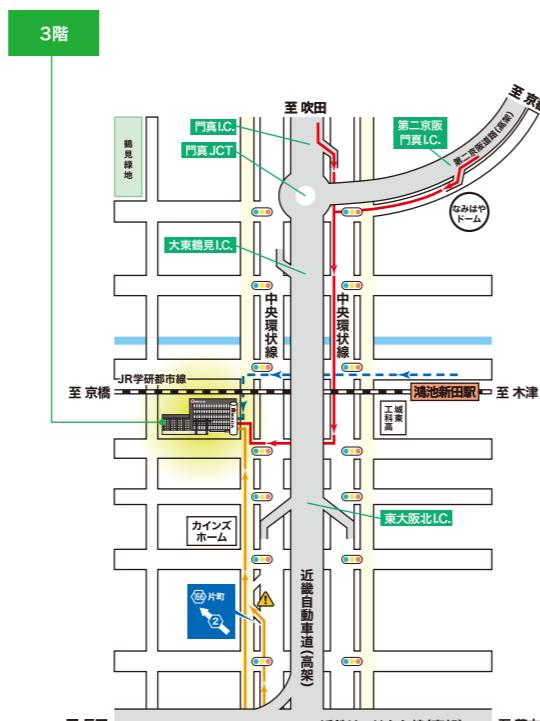
伊勢原本校

〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田350
TEL: 0463-96-3586



関西校

〒578-0976 大阪府東大阪市西鴻池町311
(株)アマダ 関西テクニカルセンター内 3F
TEL: 06-6748-7860



職業訓練法人
アマダスクール

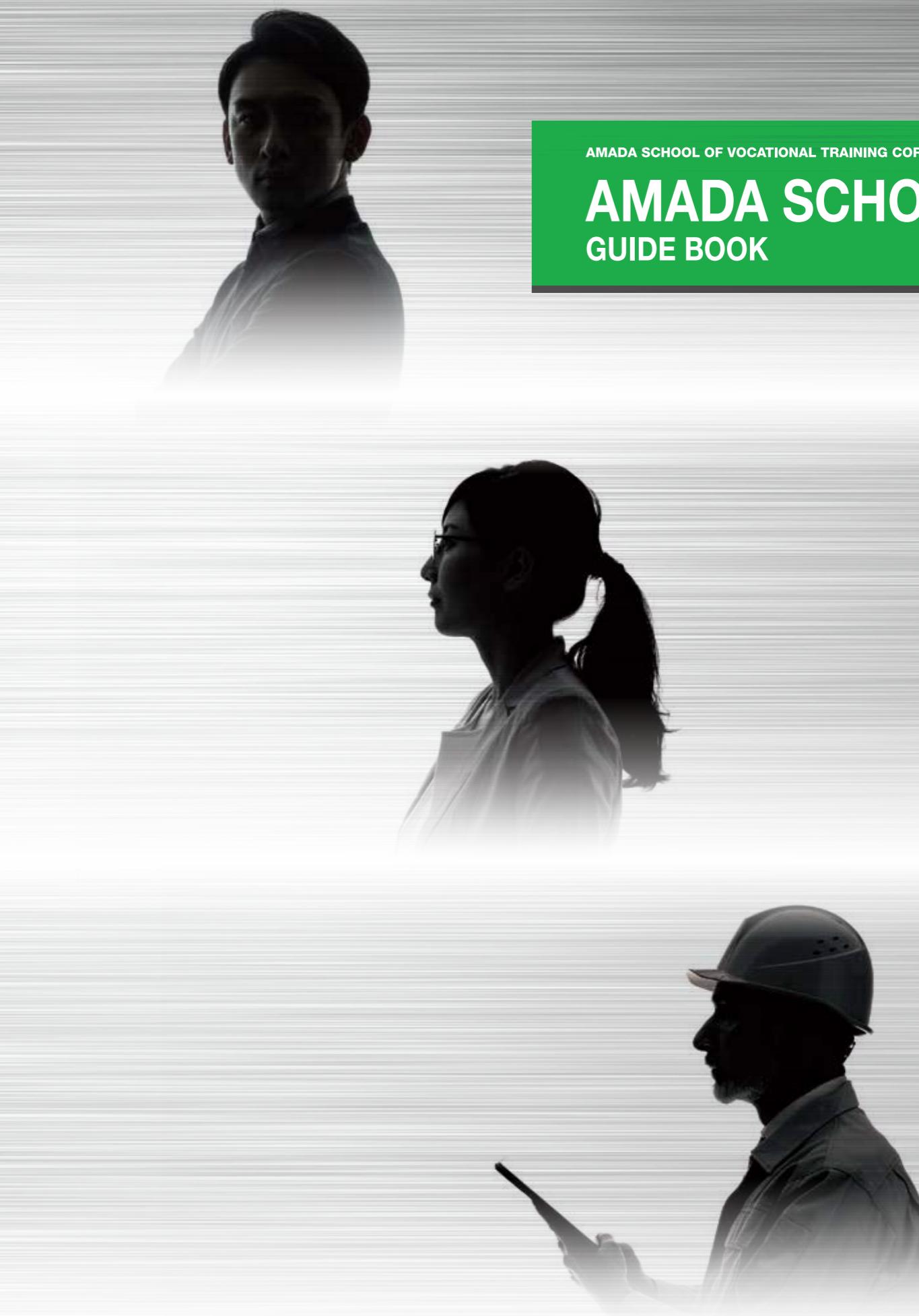


<https://www.amada.co.jp/amadaschool/>

Dec. 2023

AMADA SCHOOL OF VOCATIONAL TRAINING CORPORATION

AMADA SCHOOL GUIDE BOOK



職業人を育成すること、
それが職業訓練法人アマダスクールの使命です。
基礎から応用まで確かな技能と加工技術を伝承し、
次世代の人材を育成することで、
板金加工業界の発展に貢献してまいります。

開講以来の
修了生延べ人数
(2023年)

約 100,000人

年間の受講者数
(年平均)

約 2,500人

沿革

- 1974年 NC制御マシンの操作教育を目的に(株)アマダ内にアマダスクールを併設
- 1975年 金属プレス加工2級技能検定学科試験免除の認定校資格を取得
- 1978年 労働省より民間初の「職業訓練校」の認定を受け
「職業訓練法人アマダスクール」を設立
- 1979年 中小企業からの経営後継者育成要請を受けて
JMC(Junior Management College)開講
- 1984年 技能向上訓練の全科目が職業訓練法の認定訓練となる
- 1989年 板金加工業界の技術・技能交流と向上を目的に
「優秀板金製品技能フェア」を創設
- 1991年 技能検定(国家資格)協力校に認定される
- 2009年 板金総合1年コースを全寮制の6ヶ月板金総合講座
GMC(Green Master College)に改変
- 2021年 リモートによるソフト教育を開始
- 2023年 6ヶ月板金総合講座 GMC (Green Master College) を4ヶ月に改変

事業概要

技術・技能教育 3

板金加工業界における職業人を育成

最新機能を搭載したソフト&マシン操作教育のほか、板金加工に初めて触れる方に必要な基礎教育を行います。教育を通じて、新しい技術と人による技能の両輪がモノづくりを支えていることを実感していただけます。



経営後継者育成教育 5

企業の事業承継、次世代の経営者を育成

企業の事業承継は最難関の課題。テクニカルスキルに加え、課題抽出とその解決、事業計画の立案、組織力の強化など、経営に必要なスキルは多岐にわたります。

経営後継者育成講座では、将来経営者になるための心構えや組織を動かすノウハウなどを養う教育プログラムを実施します。



業界支援活動 7

業界の活性化、ものづくりへの興味喚起

板金製品や作品を一堂に結集し、加工技術・技能を競う「優秀板金製品技能フェア」の開催や、全国シートメタル工業会の会員さまへの研修を通して、業界の発展を支援しています。





技術・技能教育

Technology and Skills Training

ソフト&マシン 操作教育

初心者および実務者

3D CAD (SheetWorks)操作

2D CAD/CAM 操作

マシン操作・加工実習

初心者を対象とした板金加工CAD/CAM操作や加工機操作が個別に学習できます。また、リモートによるソフト教育も実施しており、遠方の方にもご受講いただけます。

ソフト教育・リモート教育



マシン操作・加工実習

- NCタレットパンチプレス
- パンチ・レーザ複合マシン
- レーザマシン
- ファイバーレーザ溶接システム
- ベンディングマシン
- ベンディングロボット



板金総合基礎講座

初心者

板金図面の読み方、書き方

板金基礎実務

板金総合1カ月

eラーニング

板金図面の読み方・書き方から、2次元・3次元のCADデータ作成を学習します。その上で、板金展開図、CAMデータを作成。パンチングマシン、レーザマシン、パンチ・レーザ複合マシンをはじめとするブランク加工から、曲げ加工、溶接加工まですべての板金加工を総合的に学ぶことができます。

また、板金図面実務コースをeラーニングにてご用意しています。場所を選ばず都合に合わせて受講でき、合格点に達すれば修了証が発行されます。



技能検定準備講座

初心者および実務者

技能検定準備講習

eラーニング

工場板金技能検定受験者を対象とした「技能検定準備講座」を開催しています。

- 工場板金(NCT板金)技能検定準備講習：1級・2級
- 工場板金(機械板金)技能検定準備講習：1級・2級
- 工場板金(特級)技能検定準備講習
- 技能検定学科講座(e-Learning)
- レーザ加工作業技能検定準備講習：1級・2級

技能検定学科講座をeラーニングにてご用意しています。標準学習時間25時間の講座で、工場板金1級、2級の学科試験合格を目指しており、合格点に到達すれば修了証が発行されます。



関係法令に係る講座

初心者

動力プレス特別教育

産業用ロボット教示特別教育

機械・自由研削といし特別教育

新入者安全衛生教育

職長・安全衛生責任者教育



初めて板金加工に触れる方は、安全衛生特別教育規定に定められた学科教育と実技教育を必ず受ける必要があります。

【労働安全衛生規則第36条に係る教育】

- 動力プレス特別教育(プレスの金型交換作業を行う方)
※プレスブレーキ、NCTも含みます。
- 産業用ロボット教示特別教育(産業用ロボットの教示作業を行う方)
- 機械研削といし・自由研削といし特別教育(といしの交換を行う方)

【労働安全衛生規則第35条に係る教育】

- 新入者安全衛生教育(金属加工向け)

【労働安全衛生規則第40条に係る教育】

- 職長・安全衛生責任者教育(金属加工向け)



経営後継者育成教育

Management Successor Training

経営後継者育成教育における2つのアプローチ

経営後継者

1,000名を超える修了生が
活躍しています

経営後継者育成支援講座

- 「事例で学び、体験で身につける」、前期12日、後期10日の22日間合宿研修。
- 同じ立場の仲間が集まり、共に過ごし、考えることで新たな気づきがある。



経営視点からの アプローチ

JMC

Junior Management College

経営者の仕事、経営指標の分析、中小企業マネジメント、先端技術のモノづくりや管理方法などのカリキュラムで構成され、経営者になるための基礎知識を実践形式で身につけることができます。

現場視点からの アプローチ

GMC

Green Master College

現場を知ることからスタート。4ヶ月という長い研修を通して、即戦力になれる知識と実務を体得できます。現場を理解し、課題に気づき、改善を繰り返しながら効率的な企業運営ができるようになることを目的とします。

経営後継者

板金総合4ヶ月コース

- 「理論と体験が本当の知識を育み、モノづくりが好きになる」、4ヶ月間の集合研修。
- 工場内の安全作業に必要な7つの資格を取得します。

技能講習

- ①床上操作式クレーン技能講習
- ②玉掛け技能講習
- ③フォークリフト運転技能講習

特別教育

- ④動力プレス特別教育
- ⑤産業用ロボット教示特別教育
- ⑥研削といしの取替え等の特別教育
- ⑦アーク溶接の特別教育



産業技術総合研究所見学



講習風景



JMC修了式



GMC開講式集合写真



曲げ実習



溶接実習



業界支援活動

Industry Support Activities

優秀板金製品技能フェアや工業会への人材研修を通じて、技術・技能の向上、業界の活性化と交流を図る



優秀板金製品技能フェア

板金・プレス加工事業者および学生

「優秀板金製品技能フェア」は、1989年より板金加工業界の技術・技能の向上と交流を図ることを目的に毎年開催しています。

作品応募期間は5月から10月末まで、審査開始は11月から1月末までとなっており、アマダ・グローバルイノベーションセンター(AGIC)内優秀板金製品技能フェア会場にて作品の確認と投票ができます。また世界中どこからでも、オンラインにて作品の閲覧・投票が行えます。

最終審査は2月初旬に産学の有識者12名によって厳正に行われます。

優秀作品には厚生労働大臣賞*、経済産業大臣賞*、神奈川県知事賞*をはじめとする数々の特別賞が授与されます。

[主催] 職業訓練法人アマダスクール

[協賛] 一般社団法人日本塑性加工学会

[後援] 厚生労働省*

日刊工業新聞社

経済産業省*

公益財団法人天田財団

神奈川県*

全国シートメタル工業会

中央職業能力開発協会

株式会社アマダ



静岡県
株式会社マツダ様



京都府
株式会社最上インクス様



静岡県
株式会社榛葉鉄工所様



福岡県
株式会社田名部製作所様

シートメタル工業会向け人材研修

初心者・実務者および管理監督者

企業成長を継続させるには基幹社員の能力開発により、会社全体の組織力(現場力)を高める必要があります。アマダスクールでは全国シートメタル工業会会員企業を対象とした人材育成集合セミナーや技能検定準備講習、および新入社員のための図面講習など、企業の発展に有益な講座を実施しています。



人材育成集合セミナー

- 職場リーダー力強化
- 不良削減の進め方など

オンラインセミナー

- ビジネスマナー
- 若手社員教育能力強化
- チーム作りのポイント

技能検定準備講習

技能検定の工場板金(NCT板金作業または機械板金作業)1級・2級、および工場板金(特級)の受検者を対象にした事前準備講習です。また新規技能検定の「レーザ加工作業」1級・2級にも対応します。

各種特別教育

工業会会員企業を対象にプレス特別教育等、各種安全教育も実施しています。

アマダスクールの講習内容

講座名	内容	期間	認定職業訓練	対象
技術・技能教育	3D CAD/CAM操作*	2日～5日	○	初心者および実務者
	2D CAD/CAM操作*	2日～5日	○	
	* 各教育にリモート対応可能			
マシン教育	●NCタレットパンチプレス	3日	○	
	●パンチ・レーザ複合マシン	3日	○	
	●レーザマシン	3日	○	
	●ファイバーレーザ溶接システム	4日～5日	○	
	●ベンディングマシン	3日	○	
	●ベンディングロボット	4日～5日	○	
板金総合基礎講座	図面の読み方・書き方	3日	○	初心者
	板金加工基礎実務	5日	○	
	板金総合1カ月コース(基礎)	20日	○	
技能検定準備講座	工場板金(NCT板金)技能検定準備講習:1級、2級	2日	○	実務者および管理監督者
	工場板金(機械板金)技能検定準備講習:1級、2級	2日	○	
	工場板金(特級)技能検定準備講習	2日	○	
	レーザ加工作業:1級、2級	2日	○	
関係法令に係る講座 労働安全衛生規則第36条	動力プレス特別教育	1日(10時間)	実務者および管理監督者	
	産業用ロボット教示特別教育	1日(10時間)		
	機械・自由研削といし特別教育	1日(10時間)		
e-Learning	板金図面実務コース	22時間20分	初心者	
	技能検定学科講座25時間	25時間		
経営後継者 育成教育	JMC (Junior Management College)	経営後継者育成講座(合宿研修)	前期12日間 後期10日間	経営後継者
	GMC (Green Master College)	板金総合4カ月コース	4カ月 80日間	○
業界支援事業	シートメタル工業会向け 人材研修	人材育成集合セミナー2泊3日	2泊3日	初心者・実務者および管理監督者
	オンラインセミナー	1日		
	技能検定準備講習	学科:1日×3回 実技:1日×1回		
	《関係法令に係る教育》・特別教育1日	1日	初心者および実務者	
	・新入者安全衛生教育1日	1日		
	・職長教育2日	2日		

人材開発支援助成金をご存じですか

人材開発支援助成金は厚生労働省が実施している施策で、計画的に人材育成を行っている事業主を支援する制度です。事業主等が雇用する労働者に対して、職務に関連した専門的な知識および技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成が受けられます。アマダスクールの講座では「人材育成支援コース:人材育成訓練」に該当するものが多くあります。

※Off JTによる教育時間が10時間以上必要です。

企業内の人才育成に取り組む事業主の皆さんへ
以下の事業主が雇用する労働者に訓練を実施する事業主団体の皆さんへ

**人材開発支援助成金
(人材育成支援コース) のご案内**

概要
人材開発支援助成金は、労働者の職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を効果的・促進するため、事業主等が雇用する労働者に対して、職務に関連した専門的な知識および技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。
当冊子では、日本のコースについて取り扱っております。

人材育成支援コース	●
教育訓練休暇等付与コース	-
建設労働者認定訓練コース	-
建設労働者技能実習コース	-
障害者職業能力開発コース	-
人への投資促進コース	-
事業展開等リスクリング支援コース	-

厚生労働省
都道府県労働局・ハローワーク
PLO0000000000000000

【条件】

1. 雇用保険適用事業所の事業主 : 本助成金は雇用保険料で運営されている
2. 職業能力開発推進者の選出 : 事業内職業能力開発計画の作成・実施、労働者に対する相談・指導
3. 事業内職業能力開発計画の策定 : 職業訓練実施計画届

提出期限: 訓練開始日から起算して1カ月前まで(厳守)

助成内容は毎年更新されます。詳細は厚生労働省ホームページ、人材開発支援助成金の資料でご確認ください。

※受講料が事業主負担でない場合、およびプレス、ロボット等の特別教育は助成金の対象外です。

※人材開発支援助成金の支給を受けるためには、訓練中も通常の賃金が支払われていることが条件になります。

※経営後継者育成教育(GMC)は、人材開発支援助成金の対象となり得ます。ただ受講費に含まれる宿泊費、食事費用、移動費は訓練経費とはなりません。またお客様工場見学や展示会見学、マナー講習など一部教育時間から省かれるものがあります。

※アマダスクールは都道府県から認定訓練助成事業費補助金等は受けしておりません。

※詳細については都道府県労働局にご確認ください。

資料は厚生労働省人材開発支援助成金のページからダウンロードできます。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kouyou_roudou/kouyou/kyufukin/d01-1.html

